

令和4年度石川県中学校体育連盟

石川県中学校体育大会 実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）及び「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会）、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からの情報等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。

今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることに御留意ください。

1 大会実施に当たっての基本的な考え方について

大会の実施に当たっては、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」（文部科学省）を踏まえ、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）、「スポーツイベント再開に向けた感染予防ガイドライン」（公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会）、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からの情報等を参考に、下記の「大会実施に当たっての基本的な考え方」に基づき新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じることとします。

【大会実施に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染防止の3つの基本
○身体的距離の確保 ○マスクの着用 ○手洗い等の徹底
- (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

ただし、石川県中学校体育連盟および専門部は、本大会に関わる全ての人について、新型コロナウイルス感染についてのいかなる責任も負わないこととします。

2 大会実施時の感染防止策について

(1) 感染源を絶つ

- 参加する中学校の校長、競技専門部は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者（引率・監督、コーチを指す）、競技役員を大会に参加させないことを徹底する。

- 参加する中学校の校長においては、自校の選手及び引率者等の1週間分の体調を記録した体調記録表（別紙2、学校保管）を作成し、健康管理を徹底する。
- 競技専門部は、大会当日受付時等に、学校同行者体調記録表（別紙4）を提出させ、選手や引率者等の体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
- 競技専門部は、学校同行者体調記録表（別紙4）に記載された者以外の来場者に対し、来場者体調記録表（別紙5）に、氏名・年齢・住所・連絡先（電話番号）・検温した体温・来場前1週間における ア：平熱を越える発熱、イ：咳や喉の痛みなど風邪の症状、ウ：だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、エ：味覚や嗅覚の異常、オ：過去14日以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国や地域などへの渡航歴及び当該在住者との濃厚接触の有無の確認と、来場後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告することを確認する。
- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに、選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- 競技専門部及び引率者等は、大会中に、選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、当該選手の体調を確認するとともに、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

(2) 感染防止の3つの基本

ア 身体的距離の確保

- 抽選会は、必要最小限の人数によって開催する。状況によっては代理抽選も可とする。
- 「実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」有効期間について、代表開会式は開催しない。
- 開会式、開始式等を実施する競技は、可能な限り簡略化することで、3つの「密」を回避する。
- 競技専門部は、監督者会議等を実施する場合、人と人との間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、椅子の配置を広くするなどの工夫をする。
- 引率者等は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔が、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。
- 競技専門部及び引率者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。

イ マスクの着用

- 競技専門部は、選手、引率者等及び大会関係者に、マスク等を準備させ、大会中は、競技等実施時及び食事中を除いて、基本的にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底するよう指示をする。ただし、活動中や気候の状況等より、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう選手に指導する。
- マスク等を着用して運動を行う場合には、同じ運動であっても、身体へ高い負荷がかかり、低酸素症や熱中症などのリスクが高まるため、引率者等は、会場の気温や湿度に注意し

ながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際、給水用のコップ等を共用させない。

ウ 手洗い等の徹底

- 競技専門部は、選手、引率者等及び大会関係者が、こまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、手洗い場に十分な量の石けん等を設置するとともに、場内アナウンス等で、選手や引率者等に手洗いを促す。
- 競技専門部は、手洗い場等に「手洗いは 30 秒以上」の掲示をする。参加者には、事前に手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参するよう周知徹底する。
- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに、流水と石けんを手洗いを行うよう、選手に指導する。

(3) 3つの「密」(密閉空間、密集場所、密接場面)の回避

- 試合会場への入場は、登録された選手、引率者等及び大会関係者のみとし、出場選手として登録されていない部員やマネージャーの入場については、利用する会場や施設の状況各専門部の加盟生徒数等を考慮し判断する。また観客については、利用施設のガイドライン、各競技専門部のガイドラインを考慮して検討する。
- チームでまとまって会場へ移動する場合、引率者等は、バス等の車内が、密閉空間にならないよう運転手と連携し定期的に換気をしたり、1台に乗車する人数を減らしたりするなどの工夫をする。
- 競技専門部は、更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し明示する。また、更衣室内に選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くように目印テープを貼付するとともに、更衣室の換気扇を常時運転したり、換気用の小窓を開けたり等、換気に配慮する。
- 競技専門部は、屋内で実施する競技において、会場内で人が密集しないよう、一度に会場に入れる人数や学校数等を制限するなどの工夫をする。
- 競技専門部は、屋内で実施する競技において、1時間に2～3回程度、会場のドア窓を開け換気を行うなどの工夫をする。その際、試合会場の窓等の開閉が困難な場合は、利用する施設と連携し、換気設備を適切に運転する。この場合においても、1時間に2～3回程度、会場の入口等を開け換気を行うなどの工夫をする。
- 競技専門部及び引率者等は、試合会場のベンチや食事をする場所について、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、選手同士の間隔を取らせ、対面をさけ、会話は控えるよう指導する。

(4) 安全な活動環境等の確保

- 試合に関わる全ての者（大会役員、審判、指導者、選手）は、試合が開始される1週間前からの行動を行動履歴書（別紙3）に記録する。
- 試合会場内は、できるだけ大会関係者（大会役員、審判、指導者、選手）と保護者等の観客の区域分け（ゾーニング）を行い、試合に関わる全ての者が安全に取り組むことができるようにする。

- 県中体連事務局は、競技専門部を通じて参加校に対し大会の主旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。参加する中学校の校長は、大会に参加する選手及び保護者に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、同意書（別紙１）を提出させる。その際、大会申込期日までに定期健康診断の実施が行なわれていない学校の生徒については、各自で健康診断を受診するなど保護者の責任のもと健康上問題がないことを確認したうえで参加させる。
- 試合会場へ入場する保護者については、来場者体調記録表（別紙５）を記録のうえ来場ごとに開催競技専門部に提出する。
- 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、引率者や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡がとれる体制を構築しておく。
- 社会体育施設を利用して大会を実施する場合は、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）に則り運営する施設を選定し、感染拡大予防対策について、事前に施設と打合せを行う。
- 競技専門部及び引率者等は、別紙「石川県中学校体育大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例を参考に、各部活動の実態や各競技特性に応じた、適切な感染防止策を講じる。

3 大会実施時の体調不良者等発生時の対応について

(1) 大会開催時の対応

- 出場選手・部員、顧問・引率・競技役員、およびそのご家族様が以下のいずれかにあてはまる場合、参加および大会会場への来場は控え、休養または自宅待機していただくよう依頼する。
 - ・ 発熱等の風邪症状がみられる場合
 - ・ 新型コロナウイルス検査で陽性となった場合
 - ・ 保健所から陽性者との濃厚接触者として特定された場合
 - ・ 医師等の判断により検査を行った、または行うことになった場合
- 出場を取りやめた選手、チームについては以下の対応とする。
 - ・ 団体戦に関しては、代替選手の補充を認める。
 - ・ チームが出場を取りやめた場合、地区予選敗退チームの繰り上げ出場は認めない。
 - ・ 個人戦に関しては、県体要項や各専門部の申し合わせに準ずる。
- 大会開催前の出場取りやめについては、県中体連より郡市中体連を通じて返金を行う。
- 大会開催後については返金をしない。

- 令和２年度 令和３年３月２日 石川県中学校体育連盟 代議員会にて修正・決定
- 令和３年度 令和３年４月１４日 石川県中学校体育連盟 代議員会にて一部追加
- 令和４年度 令和４年９月７日 石川県中学校体育連盟 代議員会にて一部修正